



2月16日付けで、地域おこし協力隊1名が着任しました。

まきの ゆうすけ
牧野 友輔 (39歳)

プロフィール

福井県坂井市出身。愛知県の大学を卒業後、これまで一つの業界や職場にとらわれず社会人経験を重ねてきました。趣味はモルックで、幅広い年代の方々と交流しながら楽しんできました。



活動内容

住まいを中心とした移住促進に関わる業務に取り組みます。

活動の抱負

南越前町には、昔ながらの“温かいおせっかい”が残っていると聞き、心が動かされました。私が暮らしてきた地域では、地域のつながりが薄れていると感じることが多く、南越前町の皆さまの温かさに触れられることを楽しみにしています。これから皆さまとの交流や対話を通じて、南越前町ならではの魅力や温かさを体感し、町外をはじめとした多くの方々に広めていきたいと考えています。



MINAMIECHIZENCHO_IJYU
Instagram

こんにちは！地域おこし協力隊の古田です。暖かくなり春本番を迎えようという日々ですが皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

先日、「南条の魅力を発信しよう」という発表会にお招きいただきました。この発表会は、南条小学校6年生の皆さまが、ふるさととの課題を知り、解決策を提案するというものです。学んだ情報をただまとめるだけではなく、皆さまが感じたことが提案に盛り込まれていて、本当に感動しました。

そして、発表を聞く中で、私自身も地域愛を言葉にするところから逃げているはいけなと強く感じたので、ここでお話しさせていただこうと思います。

私は大阪で生まれ育ちました。今でも大阪のことが好きです

し、大阪で道を聞かれたりすると、つい丁寧に案内してしまうのも「大阪の印象が少しでも良くなったらええな」という気持ちがあるからです。では、その「好き」はどこから来ているのでしょうか。

考えてみると、よく通った店があり、顔の浮かぶ友人がいて、自分の思い出がいくつも積み重なっている。そんな「自分の物語」が、その町と結びついているからではないかと思います。

ご縁があって南越前町に来て早5年目、同じように少しずつ顔の浮かぶ人が増えてきました。ある日、越前市の園芸店の方に「南越前町はええ町や。みんな穏やかで優しい。あんた、ええとこ選んだな」と言っ



6年生の皆さまによるポスター (2)



6年生の皆さまによるポスター (1)

ていただいたことがあります。その言葉を聞いたとき、私はとても嬉しくなりました。

「穏やかで優しい町」。それがこの町のアイデンティティの一つなのかもしれない、と感じたからです。そして同時に、自分もその一部になれるだろうか、と少し背筋が伸びる思いもしました。

地域への愛着は、生まれ育った場所だから自然に生まれるものだけではなく、関わった分だけ少しずつ育っていくものなのかもしれません。

みなさんは、この町のことをどう思っていますか。そして、この町はどんな町であってほしいと感じていますか。もし、この町が「穏やかで優しい町」だとしたら、私もその一部でありたい。そのためにできることを1つずつ重ねていきたいと思っています。

■問合せ 観光まちづくり課(4月1日~みらい創造課) ☎ 0778-47-8013